



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 リゾートソリューション株式会社
コード番号 5261 URL <http://www.resol.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平田 秀明

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当取締役

(氏名) 仮屋 毅

TEL 03-3344-8811

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,666	△15.7	△108	—	9	△97.3	△8	—
23年3月期第2四半期	10,281	△9.0	137	△65.5	350	△53.4	131	△55.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △3百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 131百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△0.15	—
23年3月期第2四半期	2.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	29,744	8,384	28.2
23年3月期	29,357	8,554	29.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 8,347百万円 23年3月期 8,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	△2.3	100	△27.2	700	△0.2	350	7.0	6.30

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	55,642,000 株	23年3月期	55,642,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	82,696 株	23年3月期	80,499 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	55,560,533 株	23年3月期2Q	55,563,901 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	1
2. サマリー情報（その他）に関する事項	1
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	1
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	1
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	1
3. 四半期連結財務諸表	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 追加情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による低迷を脱し復興に向けた回復がみられるものの、欧州経済危機に端を発した世界的な経済状況の悪化や円高、株式市場の低迷、雇用情勢の悪化など、今後の日本経済は依然として予断を許さない状況にあります。

当社グループの主力事業であるゴルフ場・ホテル等のリゾート業界では、国内の需要の低迷に加え、風評被害により海外からの旅行者が激減するなど、いまだ不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループでは「顧客満足度の向上」を目指して、サービス品質の見直し、改善に注力するとともに、各種会員に対する商品やメニュー等のお役立ち情報の発信を強化してまいりました。また、経営基盤の強化のため、徹底した経費の削減を進める一方で、サービス向上のための人員再配置など企業体質の強化を推進してまいりました。

ゴルフ運営事業におきましては、良好なコースコンディションを維持するための「オールシーズンハイクオリティ」を徹底するとともに、気候の変化に対応したサマータイム制の導入など幅広くサービスの向上に努めました。また、新たなゴルフ場といたしましては、7月に山梨県の西東京ゴルフ倶楽部（旧Take1カントリークラブ）を取得し、直営ゴルフ場としてリニューアルオープンいたしました。

また、7月より茨城県の内原カントリー倶楽部の運営受託を開始し、11月からは佐賀県の唐津ゴルフ倶楽部の運営受託も予定しております。

ホテル運営事業におきましては、「くつろぎ」サービスを提供する「リソルホテル」チェーンの新たなホテルとして10月1日に「ホテルリソル博多」を開業いたしました。

開発事業におきましては、ゴルフ場、ホテル、旅館の再生ビジネスに注力しており、7月には上記の山梨県のゴルフ場西東京ゴルフ倶楽部を取得・開場いたしました。今後ともゴルフ場を中心に再生事業を拡大してまいります。

福利厚生事業におきましては、主力商品である「ライフサポート倶楽部」の会員メンバー向けの各種プランを充実するとともに、企業の細かなニーズに対応したセミオーダー型プランを提供するなど、業容と収益の拡大に努めております。

リゾート事業におきましては、ゴルフ・リゾート会員権の仲介事業は流通相場の低迷により弱含みで推移するものの、一方で一泊からご利用いただける家具つき高級レンタル別荘「スウィートヴィラ」の販売は順調に推移いたしました。

平成12年より当社が「日本土地改良株式会社」の更生スポンサーとして運営しておりました「生命の森リゾート」の更生手続きが本年9月に前倒して終結いたしました。更生の手続き終了を受け、今後はスポーツと健康とやすらぎをテーマに投資再開のアクションプランを策定する計画です。

以上の結果、当第2四半期累計期間は、震災により運営事業を中心に売上は減少いたしました。全グループ企業での経費削減などの企業体質の強化に努めた結果、売上高は8,666百万円（前年同期比15.7%減）、経常利益9百万円（前年同期比97.3%減）、四半期純損失8百万円（前年同期は四半期純利益131百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて386百万円増加し、29,744百万円となりました。これは主に現金及び預金が137百万円、売掛金が420百万円それぞれ減少したものの西東京ゴルフ倶楽部株式会社の新規連結等により固定資産が905百万円増加したこと等によるものであります。負債につきましては、21,359百万円となり、前連結会計年度末に比べて557百万円増加しております。これは主に、長期借入金1,240百万円の増加と預り保証金1,074百万円の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想については、平成23年5月17日公表しました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,526,818	4,389,340
売掛金(純額)	1,382,330	961,942
商品	127,886	122,778
販売用不動産	1,094,380	1,094,379
貯蔵品	111,404	131,598
その他(純額)	1,224,255	1,249,338
流動資産合計	8,467,076	7,949,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,731,720	4,820,097
土地	1,645,106	2,237,911
その他(純額)	870,468	870,076
有形固定資産合計	7,247,296	7,928,085
無形固定資産		
のれん	1,348,824	1,479,051
その他	349,540	339,265
無形固定資産合計	1,698,364	1,818,316
投資その他の資産		
投資再生不動産	9,143,347	9,080,828
その他(純額)	2,801,641	2,967,908
投資その他の資産合計	11,944,988	12,048,736
固定資産合計	20,890,649	21,795,139
資産合計	29,357,725	29,744,517

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	416,460	431,964
短期借入金	6,555,200	6,940,000
1年内返済予定の長期借入金	107,500	386,500
未払法人税等	47,513	119,211
賞与引当金	105,566	92,501
その他	2,080,856	2,374,295
流動負債合計	9,313,095	10,344,472
固定負債		
長期借入金	473,000	1,713,500
長期預り金	413,390	408,852
預り保証金	6,498,664	5,424,492
更生担保権	1,859,722	—
退職給付引当金	470,455	475,182
従業員特別補償引当金	70,000	70,000
資産除去債務	174,552	190,219
その他	1,529,935	2,733,246
固定負債合計	11,489,720	11,015,492
負債合計	20,802,816	21,359,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,523,487	2,523,487
利益剰余金	1,817,561	1,642,371
自己株式	△17,763	△18,072
株主資本合計	8,271,373	8,095,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34	△40
土地再評価差額金	251,624	251,624
その他の包括利益累計額合計	251,589	251,583
少数株主持分	31,946	37,093
純資産合計	8,554,909	8,384,552
負債純資産合計	29,357,725	29,744,517

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	10,281,626	8,666,565
売上原価	4,830,646	4,290,126
売上総利益	5,450,980	4,376,438
販売費及び一般管理費	5,313,926	4,484,555
営業利益又は営業損失(△)	137,054	△108,116
営業外収益		
受取利息	16,873	8,192
投資事業組合等利益	835	3,227
投資再生関係会社株式売却益	176,229	—
債務消却益	76,791	49,346
投資再生不動産売却益	—	104,643
その他	12,065	23,641
営業外収益合計	282,795	189,051
営業外費用		
支払利息	67,745	70,846
その他	1,187	450
営業外費用合計	68,933	71,296
経常利益	350,916	9,638
特別損失		
事業所整理損	—	2,699
従業員特別補償金	—	8,026
従業員特別補償引当金繰入額	33,400	11,750
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	98,644	—
会社分割による減損損失	563,864	—
その他	29,801	5,119
特別損失合計	725,709	27,595
税金等調整前四半期純損失(△)	△374,793	△17,956
法人税、住民税及び事業税	75,072	90,806
法人税等調整額	△581,481	△105,404
法人税等合計	△506,408	△14,598
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	131,615	△3,358
少数株主利益	30	5,146
四半期純利益又は四半期純損失(△)	131,584	△8,505

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	131,615	△3,358
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105	△5
その他の包括利益合計	△105	△5
四半期包括利益	131,509	△3,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131,479	△8,511
少数株主に係る四半期包括利益	30	5,146

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△374,793	△17,956
減価償却費	299,863	285,884
のれん償却額	49,711	47,810
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,256	2,058
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,117	△13,065
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,300	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△12,097	△2,151
従業員特別補償引当金の増減額(△は減少)	33,400	11,750
受取利息及び受取配当金	△17,708	△11,420
支払利息	67,745	70,846
投資再生関係会社株式売却益	△176,229	—
投資再生不動産売却益	—	△104,643
債務消却益	△76,791	△43,340
事業所整理損	—	2,699
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	98,644	—
会社分割による減損損失	563,864	—
その他の特別損益(△は益)	29,801	270
売上債権の増減額(△は増加)	1,298,457	427,189
たな卸資産の増減額(△は増加)	△17,774	△10,419
その他の資産の増減額(△は増加)	70,577	△58,803
仕入債務の増減額(△は減少)	△501,241	15,504
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17,698	24,797
その他の負債の増減額(△は減少)	△189,223	△250,241
小計	1,110,346	376,766
利息及び配当金の受取額	9,759	2,048
利息の支払額	△68,326	△61,184
従業員特別補償金の支払額	△23,400	△11,750
法人税等の支払額	△113,556	△14,273
営業活動によるキャッシュ・フロー	914,823	291,607

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	100,883	377,446
有形固定資産の取得による支出	△84,824	△87,662
有形固定資産の売却による収入	2,400	1,500
投資再生関係会社株式の売却による収入	552,500	—
投資再生不動産の売却による収入	—	167,162
貸付けによる支出	△27,500	△1,360
貸付金の回収による収入	72,508	11,060
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△984,612
その他	25,018	△137,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	640,986	△653,957
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	440,000	341,800
長期借入れによる収入	150,000	1,600,000
長期借入金の返済による支出	△12,500	△37,500
配当金の支払額	△274,630	△164,469
リース債務の返済による支出	△65,695	△67,825
一般更生債権、更生担保権の返済による支出	—	△604,057
自己株式の取得による支出	△286	△308
預り保証金の増減額 (△は減少)	△458,591	△465,321
財務活動によるキャッシュ・フロー	△221,704	602,317
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,334,105	239,968
現金及び現金同等物の期首残高	1,728,906	4,149,372
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,063,011	4,389,340

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ゴルフ 運営事業 (千円)	ホテル 運営事業 (千円)	開発事業 (千円)	福利厚生 事業 (千円)	リゾート 関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,359,557	4,164,203	20,750	1,170,200	566,915	10,281,626	—	10,281,626
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,359,557	4,164,203	20,750	1,170,200	566,915	10,281,626	—	10,281,626
セグメント利益 又は損失(△)	607,074	9,719	20,750	△110,387	29,416	556,572	△419,518	137,054

(注) ① セグメント利益又は損失(△)の調整額△419,518千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

② セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ゴルフ 運営事業 (千円)	ホテル 運営事業 (千円)	開発事業 (千円)	福利厚生 事業 (千円)	リゾート 関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	3,477,937	3,542,375	2,400	1,055,084	588,767	8,666,565	—	8,666,565
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,477,937	3,542,375	2,400	1,055,084	588,767	8,666,565	—	8,666,565
セグメント利益 又は損失(△)	308,061	68,747	2,400	△184,626	8,074	202,657	△310,774	△108,116

(注) ① セグメント利益又は損失(△)の調整額△310,774千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

② セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ゴルフ運営事業」において、西東京ゴルフ倶楽部株式会社(旧Take1カントリークラブ)の株式を取得し、同社を連結子会社としました。これにより、176,553千円のものれんを計上しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 追加情報

従来まで区分掲記しておりました固定負債の「更生担保権」は、当社連結子会社である日本土地改良株式会社の更生手続が平成23年9月28日付をもって終了したことに伴い、固定負債の「その他」に含めて表示しております。